

第21回 中小商工業全国交流・研究集会 開催要綱

日 程	2019年9月7日(土)13時～8日(日)15時00分
会 場	第1日〈全体会・パネル・基礎講座〉ホクト文化ホール 〒380-0928 長野県長野市若里1-1-3 TEL：026-226-0008 FAX：026-226-1574 〈パネル〉 A：ホクト文化ホール・中ホール B：信州大学工学部・講義棟200教室 〈基礎講座〉 1：信州大学工学部・講義棟301教室 2：信州大学工学部・講義棟102教室
	第2日〈分科会〉信州大学工学部 〒380-8553 長野県長野市若里4-17-1 TEL：026-269-5000 〈閉会全体会〉ホクト文化ホール
目 的	中小商工業の果たしている役割と実態を検証し、地域経済と日本経済の担い手としての中小商工業の発展方向を明らかにする。政府・自治体、大企業の政策への検討を加える。国民諸階層と連帯し、中小商工業運動の多様な発展方向について交流・研究を行なう。
メインテーマ	循環型経済の確立で個性豊かな地域社会を ——ローカル＆スモールファースト——
規 模	1,000人
参 加 費	10,000円(学生・院生は3,000円)。※参加者交流会 5,000円(要申し込み) 2日目は昼食付。移動分科会は別途実費が必要。
お申し込み 問い合わせ	全国商工団体連合会 〒171-8575 東京都豊島区目白2-36-13 全商連会館 TEL：03-3987-4391 FAX：03-3988-0820 Eメール：seisaku@zenshoren.or.jp
締め切り	8月19日(月)
協賛団体	日本科学者会議・全国労働組合総連合

参加費送金先		
☐ 銀行振込 りそな銀行 目白出張所 普通 0033885 「商工交流会」	☐ 郵便振込 00100-4-76755 「商工交流会 実行委員会」	☐ 現金書留 〒171-8575 豊島区目白2-36-13 全商連会館内 第21回 中小商工業全国交流・研究 集会全国実行委員会

第21回 中小商工業全国交流・研究集会 実行委員会

●全国実行委員会

実行委員長 **橋沢 政實**(全国商工団体連合会副会長)
 吉田 敬一(駒澤大学教授)、八幡 一秀(中央大学教授／自治体問題研究所)、三井 逸友(横浜国立大学名誉教授)、吉田 喜一(東京都立産業技術高等専門学校名誉教授)、金澤 誠一(佛教大学名誉教授)、岡田 知弘(京都橋大学教授)、井内 尚樹(名城大学教授)、鳥畑 与一(静岡大学教授)、番場 博之(駒澤大学教授)、小林 世治(元日本大学教授)、足立 基浩(和歌山大学教授)、佐竹 隆幸(関西学院大学教授)、山本 篤民(日本大学准教授)、岡崎 民人(全国商工団体連合会事務局長)、中山 眞(全国商工団体連合会常任理事)、全経済産業省労働組合、日本国家公務員労働組合連合会、全労連・全国一般労働組合、全日本建設連一般労働組合、新建築家技術者集団、日本自治体労働組合総連合、全日本家内労働者組合総連合、自由法曹団、NPO法人建設政策研究所、全国生活と健康を守る会連合会、全国保険医団体連合会、全日本民主医療機関連合会、全国金融労働組合連合会

●長野県実行委員会

実行委員長 **滝澤 孝夫**(長野県商工団体連合会会長)
 事務局 **長野県商工団体連合会**

長野駅東口から
 ホクト文化ホールまで
0.8キロ(徒歩約10分)

長野駅東口から
 信州大学工学部まで
1.5キロ(徒歩約20分)



第21回 中小商工業全国交流・研究集会 参加申込書

2019年 月 日

氏名	年 齢 歳	〒 住 所								
	男 ・ 女									
職業	所 属	電 話 ()								
参加日に○印をお付けください 9月7日(1日目)・9月8日(2日目)		パネル、分科会について (○印をお付けください)								
参加費 <table border="1"> <tr> <th>1・2日間</th> <th>10,000円</th> <th>学生・院生</th> <th>3,000円</th> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>円</td> <td colspan="2">※移動分科会は実費を現地でお支払いください ※1日目の参加者交流会を申し込まれる方は、参加費として別途5,000円が必要になります</td> </tr> </table>		1・2日間	10,000円	学生・院生	3,000円	合計	円	※移動分科会は実費を現地でお支払いください ※1日目の参加者交流会を申し込まれる方は、参加費として別途5,000円が必要になります		1日目 ディスカッション A 小規模事業者と地域の持続的発展 B 営業と暮らしを守る税制度の構築に向けて 基礎講座 1 事業計画の作り方と実践方法 2 憲法と経済民主主義
1・2日間	10,000円	学生・院生	3,000円							
合計	円	※移動分科会は実費を現地でお支払いください ※1日目の参加者交流会を申し込まれる方は、参加費として別途5,000円が必要になります								
送金方法 (○印をお付けください) 銀行振込 ・ 郵便振込 ・ 現金書留		参加者 参加費(別途) 5,000円 研究者のみさんと直接交流できるチャンスです								
お申し込み 個人の方はこちらの参加申込書に必要事項を記入し、FAXでお送りください FAX 03-3988-0820 (全商連) 締め切りは8月19日(月)です。 ※宿泊のご予約は、㈱富士ツーリスト ☎052-261-4621へ直接お申し込みください		2日目 分科会 第 分科会 報告をしたいテーマ								



循環型経済の確立で個性豊かな地域社会を
 ——ローカル＆スモールファースト——

日 程：2019年9月7日(土)13:00～8日(日)15:00

会 場：ホクト文化ホール・信州大学工学部

主 催：第21回 中小商工業全国交流・研究集会 / 全国実行委員会・長野県実行委員会

協 賛：日本科学者会議、全国労働組合総連合

9/7 全体会

13:00～15:15 [受付開始12:00]
会 場：ホクト文化ホール・中ホール

開会・歓迎あいさつ / 主催者あいさつ / 基調報告

基調講演「中小業者と地域政策の課題」(仮) (元日本大学教授)
——ローカル・ファースト + スモール・ファースト—— 小林世治

パネルディスカッション 15:45～18:15
——テーマ——

A 小規模事業者と地域の持続的発展

- 会 場：ホクト文化ホール・中ホール ■コーディネーター：吉田 敬一（駒澤大学教授）
- 内 容：持続可能な地域づくりと産業振興に取り組んでいる実践や、地域に根差して住民の生活を支え、雇用を生み出す中小業者の取り組みなど、パネリストによる報告と討論を通じて、小規模事業者と地域の持続的発展を一体的に進める方途を探ります。
- パネリスト：曾我 逸郎（長野県中川村前村長） / 真関 隆（長野県環境部環境エネルギー課長）
成澤 篤人（坂城葡萄酒醸造㈱代表取締役・日本ソムリエ協会認定シニアソムリエ）
江森 けさ子（NPO法人 峠茶屋専務理事・訪問看護ステーション所長）

B ——テーマ——
営業と暮らしを守る税制度の構築に向けて

- 会 場：信州大学工学部 講義棟200教室 ■コーディネーター：服部 守延（全商連常任理事）
- 内 容：低所得者に重い負担となるなど消費税の問題点をあぶり出しながら、消費税に頼らない財源確保の道と「応能負担・生活費非課税」など憲法に則った税制度の在り方について、3人のパネル討論で探求します。
- パネリスト：浦野 広明（税理士・立正大学客員教授） / 菅 隆徳（税理士） / 種山 千恵子（そば店・北アルプス民商）

基礎講座 15:45～18:15
——テーマ——

1 事業計画の作り方と実践方法

- 会 場：信州大学工学部 講義棟301教室 ■コーディネーター：上品 忍（中小企業診断士）
- 内 容：経営の維持・発展、融資や補助金獲得などに欠かせない事業計画。その作り方を基礎から学びます。また、事業計画を実践するためのポイントをわかりやすく解説し、疑問に答えます。

2 ——テーマ——
憲法と経済民主主義

- 会 場：信州大学工学部 講義棟102教室 ■コーディネーター：山家 悠紀夫（暮らしと経済研究室）
- 内 容：「アベノミクス」開始から6年が過ぎ、大企業・富裕層がますます富む一方で、庶民は賃金低下や増税で一層貧しくなり、格差は拡大しています。また、所得再分配策であるべき税制や社会保障は改悪され続けています。憲法と経済民主主義の立場から、経済・政治の理想とするべき道を考えます。



参加者交流会 18:45～

研究者のみなさんと直接
交流できるチャンスです。

■会 場：信州大学生協工学部食堂 ■参加費：別途5,000円

9/8 分科会

9:00～12:30
会 場：信州大学工学部

1 地域経済・地場産業
再生の課題

地域経済の再生に向けて、
地場産業の果たす役割とその発展

地域に根差したものづくりや地場産業の役割と今後の発展方向、自治体が取り組む施策を活用した実践的な取り組みなどを交えて、地域経済の再生を目指すものづくり・地場産業の課題を探ります。

助言者 小林 世治（元日本大学教授）
青田 篤民（日本大学准教授）

2 防災・減災対策、低単価、
人手不足など地域建設業の課題

地域インフラとしての建設業の維持・
発展をめざす施策と取り組み

リフォーム・リニューアル助成の経済効果、仕事おこしにつなげる実践を交流します。また、災害時における地域建設業者の役割発揮、担い手の育成と技術継承の課題、建設キャリアアップシステムの実情や社保加入・公契約条例など直面する課題についても深めます。

助言者 永山 利和（元日本大学教授）
市村 昌利（建設政策研究所）

3 地域で輝く商業・サービス業の
発展方向

にぎわい創出への挑戦事例に学ぶ

地域に活気を生み出し、コミュニティの場にもなっている商店や商店街の取り組みを交流し、地域商業の発展方向を探ります。住民目線でニーズをさめ細かくとらえ、変化にも対応するサービス業の実践を交流します。

助言者 足立 基浩（和歌山大学教授）
近藤 義晴（兵庫県中小商工業研究所）

4 料飲業が果たす地域貢献
(全国料飲サミット第6弾)

まちのオアシス、憩いと交流、コミュニティの担い手を守る

地域ぐるみでまちとお店を元気にする「夜オリ」などの取り組み、私の「おもてなし」経営戦略など経営や顧客確保の工夫を交流します。営業の自由を脅かす風営法の対策を話し合います。

助言者 八幡 一秀（中央大学教授）
谷口 功一（首都大学東京教授）

5 産学官金連携で切り拓く新製品・
サービス開発、再エネ活用

地域資源の発掘・活用で地域内経済循環も視野に入れた
新製品・サービスの開拓、再生可能エネルギーの活用

地域資源の掘り起こしや活用は循環型地域経済へのカギとなっています。地域資源をいかした新分野、新製品、再生可能エネルギーへの転換など、努力する中小企業と産学官金連携の実践を交流します。

助言者 井内 尚樹（名城大学教授）
吉田 喜一（都立産業技術高専名誉教授）

6 業種別の課題と経営対策
(異業種交流とネットワーク)

損保・運送・コンビニなど各業界の課題交流。
異業種、同業種ネットワークでつくる商売繁盛

損保・運送・コンビニなど各業界が抱える課題を交流し、業界の在り方や発展方向について検討します。経営発展のヒントをつかむ場となっている経営交流会の経験や異業種・同業種のネットワークの実践を交流します。

助言者 佐竹 隆幸（関西学院大学教授）
山下 紗矢佳（神戸山手大学講師）

7 小企業の活躍を促す
自治体施策

小規模企業振興基本法を地域でどう具体化しているか

中小業者を軸とした循環型経済や地域振興施策を求めて自治体への政策提案が前進しています。実現してきた新たな施策、条例、仕事確保・予算獲得運動を交流します。

助言者 吉田 敬一（駒澤大学教授）

8 小規模事業における
女性の役割と地位向上

女性だからできる商いや、
経営を支える家族従業者の役割と可能性

女性経営者だからこそできる経営の特徴や、家族従業者として経営を支える女性の役割や可能性、課題を考えます。

助言者 松本 典子（駒澤大学教授）

9 事業承継と経営革新を考える
いいもの引き継ぎ、チャレンジへ

焦眉の課題となっている中小商工業の後継者問題。ものづくり技術や事業の継承をどう引き継ぐのか、世代交代と事業革新へのチャレンジなどの取り組みを学び合います。

助言者 三井 逸友（横浜国立大学名誉教授）

10 税と社会保障、
働き方改革を考える

負担増と給付カットが中小業者・住民の命と暮らしを
脅かす下で、最賃引き上げに向けた支援策などを探る

政府が公的責任を負う制度から自己責任型に性格を変えている社会保障と、富裕層・大企業優遇と庶民に負担強化を押し付ける税制の動きを明らかにしつつ、憲法がうたう生存権を実現するための方策を検討します。また、議論が活発になっている最低賃金の引き上げについて、あるべき方向性を考えます。

助言者 金澤 誠一（佛光大学名誉教授）／斎藤 寛生（全労連幹事）
土屋 信行（税理士・税経新人会理事長）

11 まちと中小業者を元気にする
地域金融の役割

金融行政の変化と地域金融のあるべき方向、
ギャンブルのないまちづくりを

信用保証制度の部分保証化や事業性を重視した融資が進む中、金融行政や地域金融の変化とあるべき方向を探り、融資獲得の実践・運動を交流します。カジノ・IRが地域にどんな影響を及ぼすのかを学びます。

助言者 鳥畑 与一（静岡大学教授）
上品 忍（中小企業診断士）

12 移動分科会 ①
小布施町視察

小布施町は長野県北部の長野盆地に位置し、「葛飾北斎」をはじめとする歴史的遺産を継承し、住民主体のまちづくりを発展させました。「栗と北斎と花のまち」として知られてから年間100万人超の観光客が訪れています。まちの歴史と文化、町民主体のまちづくりの仕組みを探ります。

移動分科会 ②
松代大本営跡視察

太平洋戦争末期、大日本帝国の国家中枢機能移転のために山中（象山・舞鶴山・皆神山の3カ所）に掘られた地下坑道跡。工事には、多くの朝鮮や日本人たちが強制労働させられました。現在、象山地下壕が一般公開されています。平和を語り継ぐうえで貴重な戦争遺跡を視察します。



閉会全体会
13:30～15:00

■会 場：ホクト文化ホール・中ホール

特別報告

「日本縦断あるき旅——地域の『宝』再発見」 石川 文洋（報道写真家）

閉会あいさつを兼ねたまとめ講演 井内 尚樹（名城大学教授）